



春日部市議会議員
くりばら信司後援会だより

くりばら通信

<http://s-kuribara.com/>



↑携帯サイトへ

日本再建。明日をつなぐ力。公明党



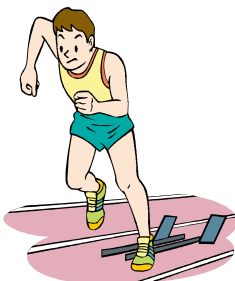
3月度定例議会・一般質問より♪

1 SAQトレーニングの導入について

Q. 現代社会では、車や電車が街を占領し、子供達は自由に野山を走ったり、川遊びはできません。本来なら子供の時に遊びの中で自然に身につくはずの俊敏さ、バランス能力、柔軟性などを大自然の代わりに身につけるために開発されました。

そこで、このSAQトレーニングが導入すべきと訴えました。

A. 指定管理者による自主事業の講座のひとつに指導者育成の為にSAQトレーニング講習会を取り入れられるよう指定管理者と協議します、と答弁がありました。



2 BIMMS (保全情報システム)の導入について

Q. BIMMSとは公共施設を一元管理できる手段であり、委託情報・施設管理・保全計画・複数施設総合評価・技術の情報提供の5つの機能があり、今まで部局別にバラバラであった施設管理を一元管理するシステムです。限られた資源の有効活用を図るべきと訴えました。

A. BIMMSは容易に施設情報の共有が出来ること、システム開発が低コストで出来ることから、有効なシステムと認識しており、先進事例を、調査・研究します、と答弁がありました。



3 家庭用ごみの対策について

- ①リサイクル広場
- ②ごみステーション

Q. ごみの再利用の意識啓発のためイベント会場での移動リサイクル広場の導入と、収集場所である、ごみステーションを観光資源とできるような体制づくりをするべきと訴えました。

A. 現状実施中の「集団資源回収」方式の注視しつつ、カラス対策等も視野に入れ、資源としての家庭ごみの活用と、市民の意識啓発に取り組んでいくと答弁がありました。



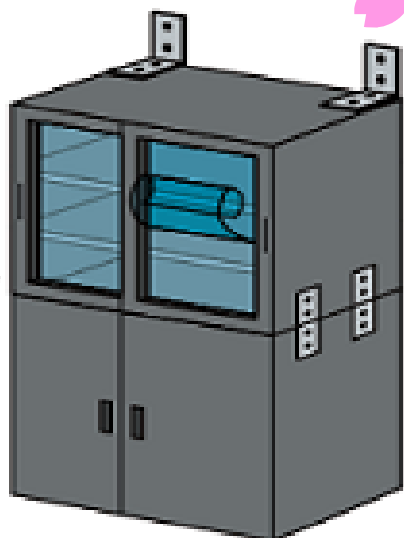
4 公園など季節施設の活用によるまちづくりを

Q. 東京スカイツリーのオープンに合わせ、春日部市を元気にする取り組みが必要であり、例えば、春日部市に特別住民票を持つ「くれよんしんちゃん」をモニュメントとして作成し、シンボルとして公園などに設置することによる街づくりを考えるべきではないかと訴えました。

A. 情報発信の提供方法を見直したり、市内の施設の有効利用について、さらに検討します、と答弁がありました。



地域のご要望にお応えしました♪



左 一人暮らしの重度心身障害のある方に対し、災害時の安全対策を進めるため、家具の転倒防止策への助成予算を勝ち取りました。



中 工事途中ですがJA南彩と立沼橋交差点の間に架かる橋を3mに拡幅しました。工事が完了すると6mに拡幅されます



右 春バスを再編しました。県道さいたま春日部線を走ります。PASMOなどのICカードも使えるようにしました。

news!

市民税などのコンビニ収納が始まりました

一番最初に議会で取り上げたのは、2001年9月のことでした。以来なんと10年以上が経過し、いよいよ身近なコンビニを使って、市民税や軽自動車税などの収納が出来るようになりました。

今後はさらに発展させて、住民票などもコンビニで受け取れるようにして参ります。

目指すものは、開いてて良かった、と言われる、身近な行政窓口♪



無料法律相談♪

公明党では気軽に弁護士に相談できる無料の法律相談を行っています。予約は栗原まで。

今後の開催予定

- 4月11日(水) 県本部5F
- 4月14日(土) 春日部市商工振興センター
- 4月20日(金) 県本部5F
- 5月2日(水) 県本部5F
- 5月11日(金) 県本部5F
- 5月19日(土) 春日部市商工振興センター
- 5月21日(月) 県本部5F

